

来月の消費予報

**12月の消費意欲指数は、今年の最高値。
ただし、例年の水準にまでは至らず。**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※11月上旬に調査(詳細はP5)

12月の消費意欲指数は54.9点。前月比は+6.1pt、前年比は+1.8ptと、いずれも上昇しました。

12月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+6.1 ポイント

+1.8 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(12月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(12月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

12月のポイント

Point1 : 12月の消費意欲指数は例年と同様、今年の最高値に。

クリスマスや年末年始を控える12月は、1年で最も消費意欲指数が高まる月です。今年も前月から+6.1pt上昇し、今年の最高値54.9点となりました。特に買いたいモノ/利用したいサービスがある人の割合(38.6%)も前月比+11.3ptで、こちらも今年の最高値となっています。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、消費にポジティブな回答(20年11月338件→20年12月553件)(以下、西暦略)が前月から大きく増加。特に、「クリスマス、年末年始の買い物をしたい」、「冬物衣料がほしい」など、その時期や季節ならではの意見(11月93件→12月299件)や「欲しいもの/出費の予定がある」(11月58件→12月79件)の増加が目立ちます。また、特に買いたいモノ/利用したいサービスの内訳をみても、「食品」、「ファッション」、「外食」をはじめとして、16カテゴリー中11カテゴリーで前月から20件以上増加しており、今年も12月らしい消費意向の高まりがみられます。

Point2 : 指数は増税後の前年を上回るも、それ以前の水準(56点台)は下回る。

一方、消費意欲指数(54.9点)を前年以前と比べると、消費税増税の影響があった2019年12月(53.1点)を+1.8pt上回ってはいますが、2016年~18年の水準(56点台)までには至っていません。前述の「クリスマス、年末年始の買い物をしたい」、「冬物衣料がほしい」など、その時期や季節ならではの消費意欲も2018年の水準には届きません(18年12月378件→19年12月317件→20年12月299件)。

また、コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答は前月から減少していますが(11月178件→12月149件)、まだ一定数存在しています。その影響もあってか、「ボーナスが出るので買いたいものがある」とした人は(19年12月84件→20年12月57件)が前年から減少し、「金銭的な理由で節約・我慢」(19年12月193件→20年12月230件)が増加しています。

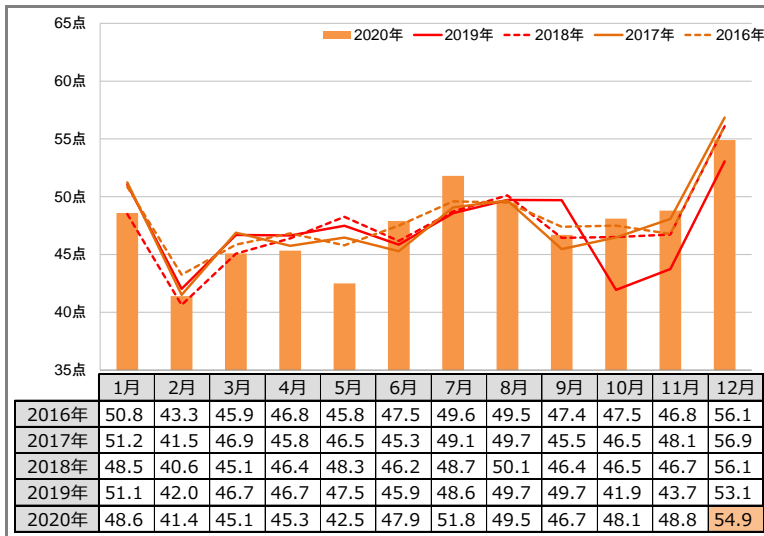
12月ならではの消費意欲が盛り上がる月にはなりそうですが、コロナ禍による不安や経済要因が影を落とす面もあり、予断を許さない状況が続くそうです。

消費意欲指数

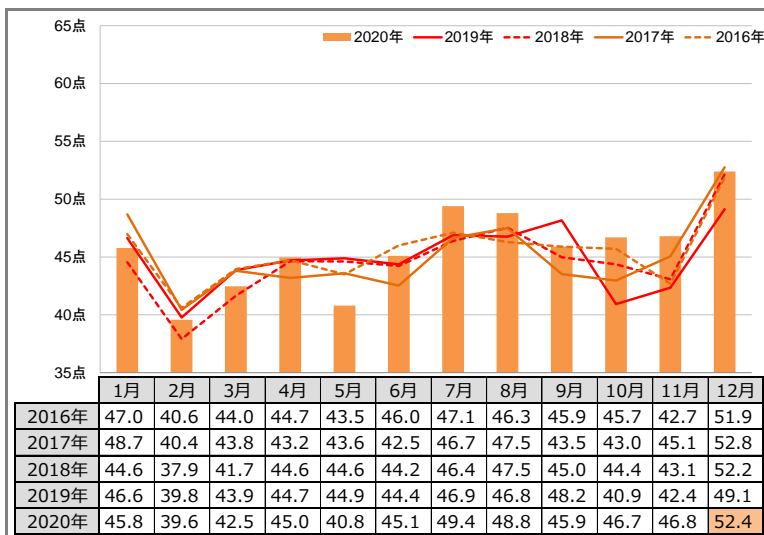
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(12月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

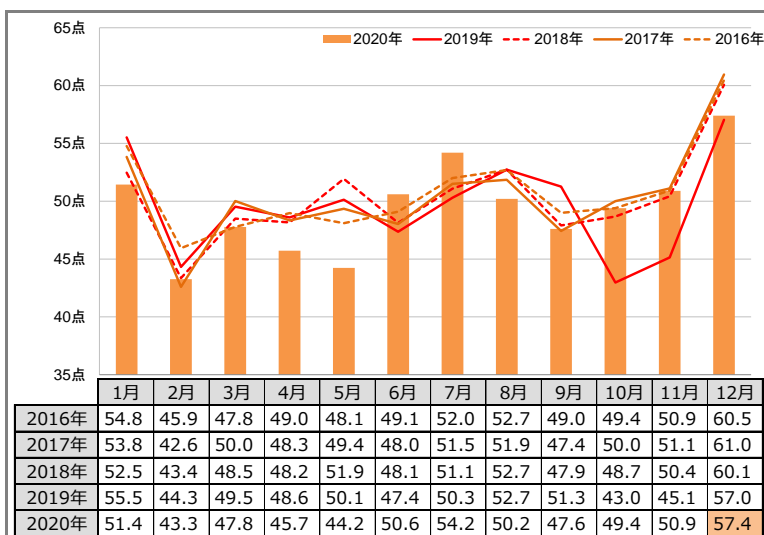
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						20年12月比較	
	20年7月	20年8月	20年9月	20年10月	20年11月	20年12月	前月比	前年比
全体	51.8	49.5	46.7	48.1	48.8	54.9	6.1	1.8
男性	49.4	48.8	45.9	46.7	46.8	52.4	5.7	3.3
女性	54.2	50.2	47.6	49.4	50.9	57.4	6.5	0.3
20代	57.5	50.3	47.1	49.2	48.8	56.6	7.8	3.4
30代	52.9	51.5	43.4	49.4	49.0	55.7	6.7	0.6
40代	50.9	51.1	47.3	48.6	49.0	57.1	8.1	4.5
50代	48.0	47.0	47.4	43.9	47.0	51.5	4.5	0.5
60代	51.2	47.5	48.4	49.7	50.5	53.6	3.1	-0.1

■ +3pt以上の増加
■ -3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【クリスマス、年末年始の買い物をしたい・冬物衣料がほしい】>

- ・年末で、いろいろなこと・物にお金を使いたいと思うため(100点・男性25歳・千葉県)
- ・バーゲンセールで洋服を買いたい(80点・男性32歳・愛知県)
- ・クリスマスプレゼントを買わなければならないし、クリスマス商戦で魅力的な商品が店に並ぶので(75点・男性45歳・埼玉県)
- ・金銭的には30点だが、クリスマスや正月が近いので食事だけはそれなりにしたい(60点・男性59歳・兵庫県)
- ・今年抑えてきたものを吐き出して、来年が良くなるように、自分や家族へのプレゼントを購入して、スカッとして年を越したい(100点・男性61歳・大阪府)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【年末なので自分にご褒美をあげたいから】>

- ・年末なので自分にご褒美をあげたいから(100点・女性26歳・愛知県)
- ・最近、お金がなくてあまり購入意欲がないが、クリスマスや冬服にお金を使おうと思っているから(60点・女性32歳・大阪府)
- ・セールも始まるし、クリスマスやお正月に向けて買い物も増えそう(60点・女性44歳・千葉県)
- ・クリスマス、年末年始があり、withコロナとはいえ、街も華やかと感じる。自粛で抑えられてたから、そろそろ消費意欲を満たしたい(90点・女性52歳・東京都)
- ・新型コロナによる変則通学などで孫たちが沈んだ一年。クリスマスプレゼント、新年の祝いのご馳走などで盛り上げてやりたい(95点・女性68歳・兵庫県)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【金銭的な理由で節約・我慢】>

- ・景気が悪い。給料がなくなるとなんも買えない(10点・男性29歳・愛知県)
- ・コロナ禍でこれからどうなるかわからないから。将来が不安だから。お金をなるべく使いたくないため(0点・男性30歳・岐阜県)
- ・コロナウィルスの影響で家計が厳しいので(30点・男性46歳・東京都)
- ・コロナ禍で人混みには行かないため。また経済的に将来への不安も感じているので、節約に努めたい(30点・男性53歳・大阪府)
- ・コロナで収入が減ったから(10点・男性60歳・大阪府)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【コロナで収入が減り、自由に使えるお金がないと思う】>

- ・コロナで収入が減り、自由に使えるお金がないと思うと、消費意欲もなくなっている(0点・女性28歳・東京都)
- ・コロナで収入減ってるし、ボーナスなしだから(10点・女性37歳・愛知県)
- ・コロナで世帯収入が激減したため(30点・女性49歳・神奈川県)
- ・コロナ第一波後、しばらく仕事がなかった時があり、収入減なので、何も買いたくない(10点・女性53歳・兵庫県)
- ・生活に困ると嫌なので(30点・女性69歳・大阪府)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(10月1日~7日)後より今回調査(11月5日~9日)まで

- 10月8日 「東京の新規感染者248人で下げ止まり。再拡大に警戒が必要」東京都モニタリング会議
- 10月13日 GoToトラベル、東京発着対象で需要が拡大。給付金ひっ迫で利用回数や金額の制限が相次ぐ
- 10月13日 国土交通省がGoToトラベル予算の追加配分を発表
- 10月18日 東京都の新規感染者数139人 全国では483人
- 10月23日 東京都による都民向け旅行補助が開始
- 10月28日 「地方でもクラスターが発生し、10月以降、微増傾向」厚生労働省の専門家組織
- 10月31日 北海道の新規感染者数が2日連続で最多81人、東京215人、大阪143人、全国877人
- 10月31日 ハロウィンも新様式。SNSやZoomでの仮装披露も
- 11月5日 全国の新規感染者数2か月半ぶりに1,000人超え

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(12月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2020年12月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	38.6	11.3	4.9
男性	34.3	6.8	6.8
女性	43.0	16.0	3.0

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(579人)

参考:男性(259人)

参考:女性(320人)

順位	カテゴリー	12月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	297	+138	+32
2	ファッション	282	+77	-4
3	外食	266	+82	+41
4	旅行	195	-4	+44
5	飲料	169	+63	+7
6	書籍・エンタメ	134	+28	+19
7	化粧品	128	+54	-9
8	理美容	127	+40	+6
9	レジャー	123	+23	+7
10	日用品	121	+34	+11
11	家電・AV	112	+28	-3
12	インテリア用品	83	+19	+20
13	装飾品	82	+28	-12
14	スマートフォン・携帯電話	66	+9	+16
15	パソコン・タブレット・周辺機器	64	+3	-16
16	車・バイク	40	-4	+8

順位	カテゴリー	12月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	98	+33	+13
1	ファッション	98	+15	-5
1	外食	98	+10	+20
4	旅行	92	-8	+27
5	飲料	71	+17	+16
6	書籍・エンタメ	69	+17	+20
7	家電・AV	62	+10	-1
8	レジャー	57	+12	+13
9	パソコン・タブレット・周辺機器	52	+7	±0
10	スマートフォン・携帯電話	47	+9	+14
11	日用品	39	+13	+11
12	装飾品	33	+6	-8
13	車・バイク	32	-3	+4
13	インテリア用品	32	+9	+8
15	理美容	24	-2	+5
16	化粧品	14	+1	-3

順位	カテゴリー	12月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	199	+105	+19
2	ファッション	184	+62	+1
3	外食	168	+72	+21
4	化粧品	114	+53	-6
5	理美容	103	+42	+1
5	旅行	103	+4	+17
7	飲料	98	+46	-9
8	日用品	82	+21	±0
9	レジャー	66	+11	-6
10	書籍・エンタメ	65	+11	-1
11	インテリア用品	51	+10	+12
12	家電・AV	50	+18	-2
13	装飾品	49	+22	-4
14	スマートフォン・携帯電話	19	±0	+2
15	パソコン・タブレット・周辺機器	12	-4	-16
16	車・バイク	8	-1	+4

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(12月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(12月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏
調査対象者	20～69歳の男女
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
サンプル数	合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500

調査方法	インターネット調査
調査時期	2020年11月5日(木)～9日(水)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、11/20付で「第8回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年11月)」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2020/11/20201120.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤・夏山) 03-6441-6450 seikatsusoken.mail@hakuhodo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(寺村) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2020-012/>)からダウンロードしていただけます。